

平成 23 年 6 月 30 日

豊川信用金庫

「平成 21 年～22 年度地域密着型金融推進計画」進捗状況のお知らせ

豊川信用金庫では、「地域密着型金融」こそが、協同組織の地域金融機関である信用金庫の使命であるとの認識の下、「地域密着型金融」を経営戦略上の最優先課題と位置付け、平成 21 年 4 月に「平成 21 年～22 年度地域密着型金融推進計画」を策定・公表し「ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化」「事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底」「地域の情報集積を利用した持続可能な地域経済への貢献」を 3 大項目として積極的に取り組んでまいりました。

このたび、「平成 21 年～22 年度地域密着型金融推進計画」に基づく、平成 22 年度地域密着型金融の取組状況を取り纏めましたのでお知らせ致します。今後とも、当金庫では地域金融機関としての使命を果たすため、あらゆるお客さまのお役に立ち、地域経済が発展するような「地域密着型金融」を推進してまいります。

記

地域密着型金融の取組状況（平成 22 年 4 月～平成 23 年 3 月）

（ 1 ）地域密着型金融推進項目ごとの取組状況

（ 2 ）地域密着型金融の取組みにかかる主要開示計数（平成 22 年 4 月～23 年 3 月）

以 上

地域密着型金融の取組状況

(平成22年4月～平成23年3月)

 か わ し ん

・ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

創業・新事業支援	
1. 創業者へのスタートアップ支援	
<ul style="list-style-type: none"> ・創業予定者のニーズを早期に収集し、立地・プロモーション面などのアドバイスや創業計画の策定など、早い段階からの創業支援を行う。 	
(計数目標) 創業支援先 5先	[実施時期] 平成21年度、22年度
(平成22年度の結果・進捗状況) <ul style="list-style-type: none"> ・創業者に対するスタートアップ支援を営業店と本部で連携して実施しました。サービス業や商業施設、医療機関向けに創業計画立案等の支援を行いました。平成22年度は28先に対して支援を実施し、4社が創業に至りました。 ・豊川商工会議所が主催する「創業塾とよかわ2010」に講師として参加し、創業時の留意点などを解説しました。 	
2. 新事業の促進による経営革新支援	
<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業支援施策を有効に活用するなど、様々な手法を用いて地域企業の経営革新を支援する。 	
(計数目標) 経営革新支援先 3先	[実施時期] 平成21年度、22年度
(平成22年度の結果・進捗状況) <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業者と農業者が連携して行う新事業を支援した結果、東海農政局と中部経済産業局より農商工連携の認定を2社が受け、補助金の交付や販路開拓の支援等が受けられるようになりました。 ・新事業展開による経営革新を支援した結果、5社が愛知県より経営革新計画の認定を受け、スムーズな資金調達につながり、販路開拓支援等も受けられるようになりました。 ・財務データに現れない中小企業の強みを経営に活用していただくために、26社に対して「知的資産経営報告書」の作成を支援しました。この結果、新たな取引先の開拓や優秀な人材の確保、社内の活性化などにもつながりました。 	
経営改善支援	
1. 地域企業へのランクアップ活動	
<ul style="list-style-type: none"> ・営業店と本部が情報の共有化をすすめ、一体となってきめ細かい経営支援活動を行う。 	
(計数目標) ランクアップ先数 50先	[実施時期] 平成21年度、22年度
(平成22年度の結果・進捗状況) <ul style="list-style-type: none"> ・営業店と本部が一体となり、様々な経営支援活動を行った結果、574先に対して23先の債務者区分がランクアップしました。 ・企業への支援状況を記録する「経営改善支援面談記録表」を制定し、業況や経営課題、改善方策など、情報の共有化を進めております。 	

2. 経営計画策定支援

・簡易に使える経営計画策定ソフトを提供するなど、企業における経営計画策定を促進するための環境を提供する。

(計数目標) 計画策定率 30%

[実施時期] 平成21年度、22年度

(平成22年度の結果・進捗状況)

・企業の経営改善に必要な経営計画策定を支援するために、計画策定ソフトを営業店に配布しました。これにより、経営改善計画の策定が簡便に行えるようになり、経営支援先全体の計画策定率は59.8%(条件変更を含む)になりました。

3. 企業診断を活用した戦略提案

・中小企業診断協会や中京大学大学院と連携し、企業診断・戦略提案などのコンサルティングを実施する。

(計数目標) 診断・戦略提案先 10先

[実施時期] 平成21年度、22年度

(平成22年度の結果・進捗状況)

・外部機関と連携し、戦略提案など、コンサルティングの機会を提供しました。製造業者や建設業者など、18社に対して企業診断を実施したことにより、自社の経営課題が明確となり、また、その改善策を提案したことでランクアップにつながった事例もあります。

4. 企業の経営課題把握と再生支援

・地域企業の経営課題を早期に把握し、多様な手法により事業再生に向けた取組みを強化する。

[実施時期] 平成21年度、22年度

(平成22年度の結果・進捗状況)

・経済産業局からの委託を受け、「愛知5しんきん中小企業応援センター」事業を実施し、経営相談会の開催や中小企業診断士等専門家の派遣、情報提供のためのセミナーを開催しました。
・経営相談会(95回)、専門家派遣(105回)、経営セミナー(5回)を実施した結果、経営革新計画の承認5件、農商工連携の認定取得2件、知的資産経営報告書作成10件、事業承継計画作成4件、事業再生計画4件、創業計画作成2件につながりました。

事業承継支援

1. 事業承継対策への啓蒙活動

・セミナーなどの機会を通じて、事業承継問題への早期着手の必要性を啓蒙する。

[実施時期] 平成21年度、22年度

(平成22年度の結果・進捗状況)

・企業の事業承継を円滑に進めるために、事業所への面談訪問時、営業店職員が本部職員に同行し、課題を抱える企業への相談対応を経験することで、取引先の一番身近にいる当金庫職員の支援能力の向上を図りました。
・事業承継を課題とする企業に対して、中小企業応援センター事業を通じ各種情報提供を行うことで、対策への早期着手の必要性を啓蒙しました。

2. 後継者育成支援

・後継者向けのビジネススクールを開設し、異業種交流の機会提供と、経営管理の基本習得などの支援を行う。

かわしん経営塾の開催

[実施時期] 平成21年度、22年度

(平成22年度の結果・進捗状況)

・後継者向けのビジネススクールを開催したことにより、若手経営者のネットワークの構築につながりました。3年目となる平成22年度は、「自社の強みを見せる化し、経営力向上へ」をテーマに、全7回開催しました。自社の事業価値を高めるための報告書の作成や幹部社員を交えての勉強会等を行いました。
参加者から継続開催の期待が寄せられており、平成23年度も引き続き開催します。

3. 専門家と連携した事業承継支援

・弁護士、公認会計士、税理士、中小企業診断士等の専門家と連携し、事業承継計画の立案など円滑な事業承継に向けた支援を行う。

(計数目標) 事業承継支援 5先

[実施時期] 平成21年度、22年度

(平成22年度の結果・進捗状況)

・税理士、弁護士等各部門の専門家と連携して、事業承継計画の策定支援を4社に対して実施しました。(株価の算出2件、事業承継計画の策定2件)
・経営相談会や専門家派遣の機会を通じて、企業の事業承継問題の解決を支援しました。

・事業価値を見極める融資をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

職員の目利き力の向上

1. 職員の目利き力の向上のため、内部講師による庫内研修の実施

(平成22年度の結果・進捗状況)

< 庫内研修 >

・職員向け融資研修を平成22年4月、6月、11月、平成23年1月、3月の5回開催、さらに金融円滑化にかかる臨時の融資研修を4月、8月、10月に開催しました。また、6月の融資研修では、新任融資係長向けの実務研修を併せて開催しました。

・経営支援部にて、平成22年5月に支店長と地元税理士との情報交換会を開催しました。また、平成22年5月と平成23年1月に地区担当者向けの経営支援スキルアップ研修を開催しました。

< 営業店における職場内訓練 >

・経営支援部職員を講師とする営業店職場内研修を年間8回、参加店舗10ヵ店にて開催しました。また、8月の金融円滑化にかかる融資研修と平成23年2月に発表された金融円滑化にかかる金融検査の指摘事例集の内容について、全営業店にて職場内研修を実施しました。

2. 融資能力向上のため外部研修へ参加

全国信用金庫協会、東海地区信用金庫協会等の外部研修へ積極的に参加します。

[実施時期] 平成21年度、22年度

(平成22年度の結果・進捗状況)

< 全国信用金庫協会 >

支店長講座4名、次長講座4名、目利き力養成講座2名、企業再生支援実践講座1名

< 東海地区信用金庫協会 >

企業再生支援講座1名、中小企業経営支援講座2名、融資セールススキルアップ講座2名、融資総合判断力養成講座1名

< その他 >

中小企業「事業再生」実例演習スクール1名、金融円滑化法対応実務講座2名、経営支援人材育成研修1名、家畜を担保とした融資(動産担保融資)推進研修1名

合計22名が研修に参加しました。

担保・保証人に過度に依存しない融資の推進

1. 担保・保証人に過度に依存しない融資商品の開発および推進

担保・保証人に過度に依存しない融資の推進として“目利き商品”「パートナー」、「パートナーA」を平成20年7月より取り扱っており、引き続き推進します。「パートナー」につきましては、平成21年4月より一部商品改良を行い、さらに利用しやすい商品とします。

計数目標 融資総額 50億円(パートナー)

【実施時期】平成21年度、22年度

(平成22年度の結果・進捗状況)

・担保・保証人に過度に依存しない融資の推進として“目利き商品”「パートナー」を継続して販売推進した結果、「パートナー」年間獲得実績は186件5,871百万円となりました。
・うち「パートナー」の派生商品である「パートナープラス」を平成22年4月～6月、平成22年12月～平成23年3月に販売した結果、期間中の獲得実績は104件3,288百万円となりました。

2. 新しい融資手法に関する検討

平成21年4月27日より、ABL(動産担保融資)融資として、企業が所有する動産の有効活用的手段として、「しんきんMEサポートローン」を取り扱います。私募債・シンジケートローン等の利活用を提案します。

【実施時期】平成21年度、22年度

(平成22年度の結果・進捗状況)

・ABL(動産担保融資)融資として、企業が所有する動産の有効活用的手段として、「しんきんMEサポートローン」を取り扱っています。
また、様々な資金ニーズに応えるため、私募債・シンジケートローン等、多様な資金調達手法についても提案しています。

事業再生に向けた積極的取組み

1. 企業の事業再生に向けた積極的な関与

・当庫の審査基準の主体である信用格付においては、企業とのモニタリングを重視し、財務分析はもとより、企業のもつ特性(ストロングポイント)・定性等を十分に検証評価し、また、将来の動向(経営計画)も検討したうえで判定をします。また、事業計画・改善方策等への助言・アドバイス等を行い事業再生に向け積極的に取り組みます。
・経営改善計画作成に関しても積極的に関与し、企業とともに経営改善に取り組みます。

【実施時期】平成21年度、22年度

(平成22年度の結果・進捗状況)

・企業とのモニタリングを重視し、財務分析はもとより、企業のもつ特性(ストロングポイント)・定性等を十分に検証評価し、また、将来の動向も検討したうえで、事業計画・改善方策等への助言・アドバイス等を行い事業再生に向け積極的に取り組んでいます。
・経営改善計画の作成に関しても積極的に関与し、企業とともに経営改善に取り組んでおり、平成23年度3月末までの金融円滑化法対応先(条件変更先)における経営改善計画策定率は90.6%となっています。

・地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた取組み

1. かわしんビジネス交流会の開催

本年度も「かわしんビジネス交流会」を開催します。
 前回のアンケート結果等を踏まえ、土曜日を含む2日間の開催により、一般のお客様にもご来場いただけるようにします。また、毎回、出展企業の皆様から要望のあります「物販」については、体育館前広場での実施の方向で検討します。

[実施時期] 平成22年10月22日(金)～23日(土)

(平成22年度の結果・進捗状況)

第6回かわしんビジネス交流会
 日時 平成22年10月22日(金)～23日(土)
 会場 豊川市総合体育館
 出展者 151社・団体
 来場者 2日間で約6,000名
 プレゼンテーション 18社

[商談機能の充実]

商談の事前調整

事前に出展企業の皆様から商談希望をお伺いし、商談時間等の調整を行いました。また、取扱店より商談先の提案を行い調整しました。

外部バイヤーの参加(今回が初)

(株)楽天、(株)ダイエースペースクリエイト、五洋建設(株)名古屋支店がバイヤーとして参加しました。バイヤーに対する商談希望及びバイヤーが商談を希望する出展者を事前に取りまとめ、調整しました。

「商談会・虎の巻セミナー」の開催

出展者説明会の前に「商談会・虎の巻セミナー」を開催しました。

商談の成果(出店企業に対して商談に関するアンケートを2回実施)

平成23年2月時点	商談成立	33件(22先)	2,720千円
	商談成立間近	13件(11先)	27,306千円
	商談継続	28件(20先)	

[イベント]

体育館前広場のテントにおいて、出展者による物販を行いました。出展者による物販等に加え、豊川商工会議所青年部の協力により、近隣の商工会議所青年部と連携した「物産展」及び豊川商工会議所女性会による「チャリティーバザー」を行いました。

その他のイベント

- 1)サミゾコレクション(ホーロー看板)の展示及び豊川産業発展のパネル展示
- 2)豊川少年少女発明クラブの協力による「ものづくり体験コーナー」
- 3)アフラックのがん撲滅に関するブース展示による啓発活動

2. 商工会議所への職員派遣

豊川商工会議所に職員を派遣し、同会議所と共同して地域経済の発展を目指します。

【実施時期】平成21年度、22年度

(平成22年度の結果・進捗状況)

1. 豊川商工会議所に職員1名を派遣し、情報交換を密にして、地域行事に協力しました。
2. 「新豊川市誕生記念プレミアム商品券」事業に協力
豊川市内16店舗において商品券を販売しました。
週2回、換金事務を取り扱いました(9月16日終了)。
3. 8月28日豊川市民まつり・手筒まつりに協賛、参加しました。
4. 各種行事について、豊川商工会議所と協調体制をとって活動しました。

3. 地域のお客様に対する金融教育セミナー等の実施

地域社会の発展のため、地元のお客様の事業や生活の繁栄のお手伝いをすると共に、環境や教育といった面も視野に入れ、「金融教育セミナー」を開催します。

【実施時期】平成21年度、22年度

(平成22年度の結果・進捗状況)

1. 「かわしんキッズマネースクール」を開催しました。
牛久保小学校(7月7日) 東部小学校(9月14日)
御津北部小学校(12月7日) 一宮東部小学校(12月15日)
2. 平成23年度も「かわしんキッズマネースクール」の開催に向けて、豊川市、学校関係者等と準備を進めます。

お客様の声のアンケートの実施

1. お客様の声アンケートの実施

【アンケートの実施】

お客様からのご意見・ご要望を頂戴し、よりお客様に満足して頂ける「かわしん」を目指すため「お客様の声アンケート」を実施します。お客様の貴重なご意見・ご要望を業務活動に活かし、ご満足頂ける「かわしん」づくりに努めます。

【実施時期】平成21年11月頃、平成22年11月頃

(平成22年度の結果・進捗状況)

- ・平成22年12月6日～17日に「お客様アンケート」を実施しました。
- ・現在アンケート結果を集計し、業務活動の改善策等を検討しております。

情報提供機能の強化

1. 情報提供機能の強化

東三河地区の企業の景気動向についてアンケート調査を行い、かわしんレポート「ふれあい」を発行します。その他、お客様のお役に立つ情報の提供に努めます。

【実施時期】 四半期毎(4,7,10,1月)

(平成22年度の結果・進捗状況)

1. かわしんレポート「ふれあい」の発行
4月20日「ふれあい」No.53、7月20日「ふれあい」No.54、10月20日、「ふれあい」No.55、1月20日、「ふれあい」No.56を発行しました。
2. 「ふれあい情報」の発行
営業店からの情報をふれあい情報にまとめ、各店に配布しました(原則月1回の発行)。

地域密着型金融の取組みにかかる主要開示計数

【平成22年4月～平成23年3月】

(単位：先数)

		期初債務者数 A	うち 経営改善支援取組み 先	のうち期末に債務 者区分がランクアッ プした先数	のうち期末に債務 者区分が変化しな かった先	のうち再生計画を 策定した先数
正常先		2,796	51		51	42
要注 意先	うちその他要注意先	1,444	432	22	382	231
	うち要管理先	14	2	0	1	1
破綻懸念先		175	78	1	72	65
実質破綻先		69	11	0	11	4
破綻先		19	0	0	0	0
小計(～の計)		1,721	523	23	466	301
合計		4,517	574	23	517	343

		経営改善支援取組み 率 = / A	ランクアップ率 = /	再生計画策定率 = /	創業支援・新事業 支援融資実績	個人保証・不動産担 保に過度に依存しな い融資の取組み実績
正常先		1.8%		0.0%	33件	186件
要注 意先	うちその他要注意先	29.9%	5.1%	53.5%	949百万円	5,871百万円
	うち要管理先	14.3%	0.0%	50.0%		
破綻懸念先		44.6%	1.3%	83.3%		
実質破綻先		15.9%	0.0%	0.0%		
破綻先		0.0%	0.0%	0.0%		
小計(～の計)		30.4%	4.4%	57.6%		
合計		12.7%	4.0%	59.8%		